

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和5年8月17日

団体名 音楽PEACEあやべ

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	震災のチャリティーコンサート実績のあるアンサンブルを招き、音楽イベントを開催することを通じて綾部の人々の心を平和にすること。音楽の力で、綾部から世界平和を広げていくこと。チャリティーコンサートを開催し、その寄付金を世界の平和に役立てること。
事業の名称	トルコ・シリア震災被災地支援チャリティーコンサート
事業費 （市補助金）	345,000円 （172,000円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	演奏者への謝礼、演奏者交通費、宿泊費等
事業実施期日	令和5年6月25日（日）
事業実施場所	綾部工業団地 交流プラザ
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	チャリティーコンサートなどで東日本大震災の時にも活動されていたクラシック管弦楽団アンサンブル「イニスフリー・アンサンブル」を綾部に招き、トルコ震災のチャリティーコンサートを開催した。ゲスト演奏者10名。アマチュア演奏者兼参加者37名。参加者36名。合計83名が集まった。 コンサート前半は「イニスフリー・アンサンブル」の、心が癒される本格的な演奏を実施。コンサート後半には、綾部近郊の市民のフルート愛好会と共演し、最後には聴衆の人も一緒に歌を歌う形で終わった。オカリナやギターも一緒に参加し、音楽を愛しハーモニー、協調の心が育まれた。参加型チャリティーコンサートを実施することで、綾部市民が交流する機会を創り出した。実際、コンサート後にフルートを学んでみたいという声や、昔やっていたバイオリンを引っ張り出して弾いてみたという声も聴いた。市民新聞にもこのイベントを体験して感動したという投書もあった。トルコ・シリア大震災の記憶が、日本にいる私たちの中で遠くの中、東日本大震災の復興の道のりも思い起こし、音楽を分かち合うしあわせな時間を持てることを感謝すると共に、未だ苦難の日々を

	<p>送る被災地の方に思いを寄せる、そんな演奏会が開催できた。参加費の一部と当日会場で集める追加の寄付金は、トルコ震災復旧のための寄付金とする。</p>
<p>補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)</p>	<p>音楽の力で、綾部の人々の心を癒し、平和になる場となり、音楽を通じて綾部の人々が交流し、一緒に演奏したり歌ったりすることで元気になった。コンサート参加費の一部と、当日会場で集めた追加の寄付をトルコ・シリア震災被災地支援のために寄付することで、今一度、世界平和、国際交流の大切さを再認識する機会となった。綾部から平和を発信したことで、綾部の人々が持つ、精神性の素晴らしさをアピールできた。</p>

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和5年8月17日

団体名 音楽PEACEあやべ

(単位 円)

収入の部	区分	予算額	収入済額	明細
	市補助金	172,000	172,000	
	参加費	125,500	128,500	演奏者兼参加者 1,500円×37人 前売券2,000円×34人 当日券2,500円×2人
	ボランティア バンク	40,000	40,000	
	自己資金	7,500	4,500	
合計	345,000	345,000		
支出の部	区分	予算額	支出済額	明細
	演奏講師謝礼	230,000	230,000	3万円×6人、2万円×2人、1万円×1人
	演奏講師交通費	46,820	46,820	
	演奏講師宿泊費	36,800	36,800	前泊分：5,900円×4人、 6,600円×2人
	会場費	24,350	24,350	事前練習 2,800円、 前日練習 3,000円、 当日会場 18,550円
	文房具費	7,030	7,030	チケット用紙 510円、 コピー代 6,520円
	チラシ・ポスター費	0	0	
	講師お茶代	0	0	
	郵送費	0	0	
合計	345,000	345,000		
差引	0	0		